東広島市

市議会だより

2026
11
VOL.213

みんなでつくる、みんなの未来



特集

広がれ、発達障がいへの理解
気持ちを共有する家族の居場所

TOPICS

①令和８年度海外都市行政視察報告
②高校生と東広島市議会の意見交換会

特集 …… 2
第３回定例会　議決した案件 … 4
一般質問 …… 7
TOPICS …… 18
議会活動レポート …… 22
市民の声／次回定例会 …… 23
わたしの東広島 …… 24

上岡議員、中曽議員が聴く

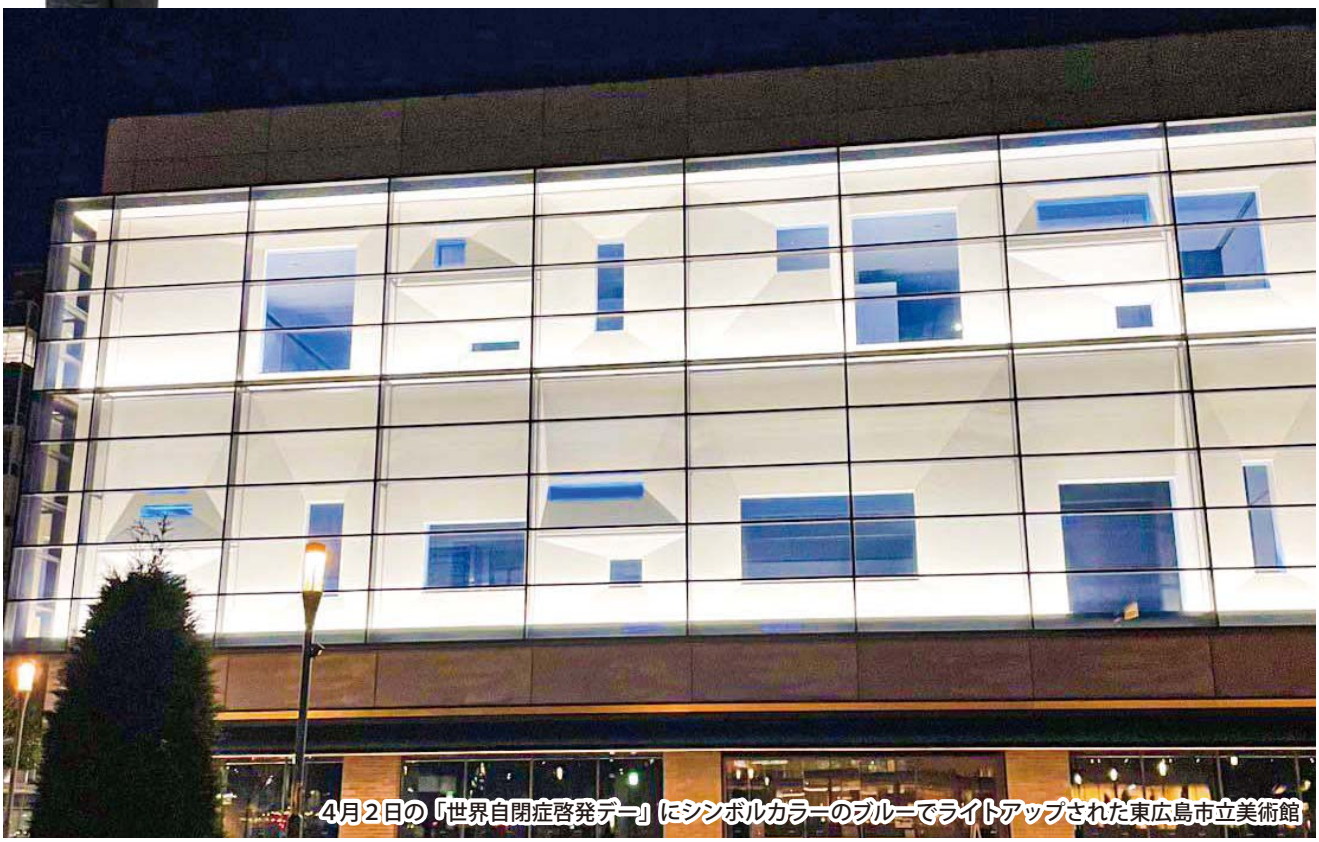
広がれ、発達障がいへの理解

気持ちを共有する家族の居場所



誰にでもある得意なこと、苦手なこと

発達障がいのある人やその家族にとって、悩みや不安を安心して話せる場所は大きな支えになります。NPO法人広島自閉症協会東広島支部では、保護者同士の茶話会や勉強会を通してつながりを育んできました。活動に関わる人たちに、これまでの経験や、地域に求める支援について聞きました。



4月2日の「世界自閉症啓発デー」にシンボルカラーのブルーでライトアップされた東広島市立美術館

同じ悩みを持つ家族とつながる場所をつくりたい

江田 子どもが自閉症と診断された頃、同じような悩みを持つ保護者と出会い、「心配なことや困っていることを話し合える場所があったらいいね」と、小さな集まりをつくりました。その後、平成

話をお聞きした「NPO法人広島自閉症協会」の皆さん



会員 植田 美和さん



理事 佐藤 麻優子さん



理事 岡本 玲子さん



副理事長 江田 久仁子さん

会員 Aさん　会員 Bさん　会員 Cさん

※一部の方は本人の希望により匿名で掲載しています。

18年にNPO法人広島自閉症協会東広島支部を立ち上げ、活動するようになりました。

岡本　こどもが診断を受けた直後は不安でいっぱいでしたが、初めて会に参加したとき、皆さんが明るく笑っている姿を見て驚きました。「笑って子育てをしていいんだ」と思えたことが、大きな救いになりました。

茶話会と勉強会 顔を合わせて話す安心感

岡本　日頃感じていることや悩みなどを自由に話せる茶話会を年5～6回、開いています。保護者の先輩から「あのときはこうした



中央図書館でのパネル展示

よ」「大丈夫だよ」と聞くだけで、気持ちが軽くなることがあります。最近は障がい者相談支援センター（はあとふる）の職員さんや心理士さんも参加してくださるように。また、年に1～2回、大学の先生などを招いた勉強会も開催しています。インターネットには多くの情報がありますが、直接顔を合わせて話すことで得られる安心感や温かさがあります。

江田　協会には、自閉症のある人やその家族だけでなく、発達に関する悩みを抱えている人も家族も参加しています。診断の有無にかかわらず、気になることがあれば、気軽につながってもらえたらと思います。

佐藤　子どもが療育に通うようになり、同じような経験を持つ保護者やスタッフに声を掛けてもらいました。さまざまな人との出会いに助けられたと感じています。

自閉症を正しく知ってほしい 早期の療育につながる体制を

岡本　自閉症という名前は知られるようになりましたが、特性や必要な配慮については、まだ十分に理解されていないと感じます。同じ診断名でも、得意なことや苦手なこと、必要な支援は一人一人異なります。まずは、本人の声や行動の背景を知ろうとすることが大切です。

佐藤　幼い頃から適切な支援を受け、本人も家族も特性を理解することができれば、生活の中の困り事を減らせます。また、大人になった今も特性と向き合いながら生活していますので、温かく見守っていただけたらと思います。

江田　子どもだけでなく、家族も安心して相談できる場所が必要です。医療、福祉、教育などの関係者が連携し、子どもから大人まで切れ目なく支えてもらいたいと思います。

植田　誰もがそれぞれに得意なことや苦手なことを持っています。違いを否定するのではなく、その人に合った伝え方や環境を一緒に考える地域になってほしいです。


くららの
ブルーライトアップ

保護者の思いを

Aさん　私自身、保健師さんをはじめ、保護者の先輩などいろいろな人に相談することができたので、ストレスが少なくなり、過ごしやすくなりました。身近な人へ相談できる支援が続いてほしいと思います。

Bさん　病院の受付でも「困った人」「クレーマー」と受け取られるなど、大人になっても理解されないことがあります。早いうちに本人や家族、周囲が特性を知り、困り事への対処法を身に付けることで、生きづらさは随分減ると思います。

Cさん　学校生活では、担任の先生が替わったり進学したりするたびに、子どもの特性や必要な配慮を一から説明しなければならないことがあります。本人が安心するための方法や、これまで有効だった支援を、学年や学校を越えて引き継ぐ仕組みが必要です。

第３回定例会 ｜ 令和８年８月31日～10月７日



議決した案件



議決案件の内訳

10月７日に議決された案件は除きます。

●市長提出議案…22件（条例案３件　予算案５件　承認案１件　諮問案３件　同意案２件　その他８件）

●委員会提出議案…２件（決議案１件　意見書案１件）

議 決 結 果

●全会一致可決…22件　　●賛成多数可決…２件

■表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▼	会派名	清新の会							創志会						市民クラブ					公明党			創生会			真政倶楽部		未来の風		日本共産党
	議員名	上岡 裕明	大下 博隆	田坂 武文	貞岩 敬	北林 光昭	重森佳代子	乗越 耕司	上田 秀	向井 哲浩	中曽 久勝	岡田 育三	玉川 雅彦	奥谷 求	小池恵美子	落海 直哉	景山 浩	中川 修	石原 賢治	下向智恵子	原田 栄二	坂元百合子	片山 貴志	岩崎 和仁	牧尾 良二	山田 学	宮川 誠子	木村 輝江	鈴木 英士	谷 晴美
議案第139号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×
議案第147号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×

※「議」は議長　「○」は賛成　「×」は反対　「欠」は欠席

表決が分かれた議案名

●議案第139号
第３次東広島市都市計画マスタープランの改定について

●議案第147号
東広島市福富みらいベースの設置及び管理に関する条例の制定について

HP
詳しくはこちらから

委員会提出議案第6号

議会の意思を表明 持続可能な※二次救急医療体制の構築に関する※決議

可決

【文教厚生委員会】

文教厚生委員会の調査により、物価高騰や人手不足などにより医療機関を取り巻く環境が大きく変化している一方、※病院群輪番制病院運営事業への補助基準額が約20年間大きく見直されていないことが分かりました。

持続可能な二次救急医療体制を確保し、市民が安心して救急医療を受けられる環境を維持するため、補助制度の在り方を検証し、必要な見直しを行うよう求める決議案が文教厚生委員会から提出され、全会一致で可決しました。

持続可能な二次救急医療体制の構築に関する決議（要約）

近年、地域医療を取り巻く環境は、人口構造の変化や医師の働き方改革への対応に加え、医療従事者の確保が困難となるなど、大きく変化しており、地域医療の維持は年々厳しさを増している。二次救急医療体制は、入院治療を必要とする救急患者を受け入れる地域医療の重要な基盤であり、持続可能な二次救急医療体制の構築が求められている。

本市では病院群輪番制病院運営事業に対し補助を行っているが、平成17年に東広島市が県から事務移譲を受けてから現在まで補助基準額の大きな見直しは行われていない。

このため、本市の病院群輪番制病院運営事業に対する補助について、社会経済情勢や医療従事者の人件費の動向を踏まえ、その在り方を検証し、必要な見直しを図ることを強く求める。

決議の全文はこちら

※二次救急医療　入院や手術が必要な救急患者に24時間体制で対応する医療。
決議　議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。
病院群輪番制　地域の複数の病院が、当番制により、休日・夜間において、入院治療を必要とする重症救急患者を受け入れる医療機関をあらかじめ定めておく制度。

委員会提出議案第7号

政府・国会に意見書を提出 教職員の働き方改革や学校施設整備への財政支援拡充を要望

可決

【文教厚生委員会】

学校現場では教職員不足や長時間労働への対応が課題となる中、教職員の確保や働き方改革の推進が求められています。また、学校施設の老朽化対策や建て替えに係る財政負担も大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、国による支援の充実を求める意見書が文教厚生委員会から提出され、全会一致で可決しました。

教職員の働き方改革のさらなる推進並びに義務教育費及び施設費国庫負担制度の拡充を求める意見書（要約）

学校現場では、いじめ及び不登校、並びに教職員の長時間労働及び未配置等解決すべき課題が山積しており、子どもたちの豊かな学びを保障するための教材研究及び授業準備の時間を十分確保することが困難な状況となっている。また、教育課程の過密状態を改善することは喫緊の課題である。さらに、学校施設の新築・改修に要する事業費は増加しており、地方自治体の財政負担は厳しいものとなっている。

このため国に対し、次の措置を講じるよう要請する。

- さらなる少人数学級の実施、加配教員の増員及び少数職種の配置増等教職員定数改善を推進すること
- 教職員の処遇改善に必要な財政措置を講じること
- 実効性のある働き方改革に必要な財政措置を講じること
- 義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること
- 学校施設整備に係る国庫補助率を引き上げること
- 老朽化により建て替えが必要となった学校施設について、国庫補助制度の拡充など十分な財政措置を講じること

意見書全文はこちら

議案第143号

令和8年度　小学校施設整備事業
下黒瀬小学校長寿命化改良及びEV（エレベーター）棟増築工事の請負契約締結

可決

○**工事の内容**
【増築工事】
EV棟　鉄骨造3階建
延べ面積186．87㎡
渡り廊下及び倉庫　鉄骨造
延べ面積合計101．09㎡
プラットフォーム
鉄骨造平屋建
延べ面積18．80㎡
【改修工事】
合計4棟　鉄筋コンクリート造
延べ面積合計2768㎡
○**契約金額**
16億473万5000円
○**契約の相手方**
平原・楠本・シンク特定建設工事共同企業体
○**工期**
議決のあった日の翌日から令和9年12月13日まで

委員会での主な質疑

【文教厚生委員会】

Q　国等の補助金の金額はいくらか。

A　約2億6700万円となっている。

Q　長寿命化改良工事とEV棟増築工事の金額はそれぞれいくらか。

A　金額までは算出していないが、長寿命化改良工事が約70％、EV棟増築工事とその他外構工事を含めて約30％である。

委員会での主な自由討議

意見　【文教厚生委員会】
学校整備事業の計画全体の速度を上げるべきではないか。

意見　執行部にもう少し事業の重要度を高めてもらう必要があるのではないか。

議案第147号

設置・管理に関する条例を制定
中山間地域の新たな活動拠点「福富みらいベース」設置へ

可決

○**設置の目的**
中山間地域の内外の人、企業及び団体の交流や学びの場を提供し、地域産業の振興その他多様な価値の創出を図ることで、中山間地域の持続的な発展に寄与することを目的とする。
○**主な施設**
コワーキングスペース
ものづくりスペース
コミュニティスペース
グラウンド
オフィススペース　など
○**施行期日**
令和9年5月31日までの間において規則で定める日等

委員会での主な質疑

【市民経済委員会】

Q　水・木曜日を休館にした理由は。また、どのような使い方を想定しているのか。

A　土日は、イベント開催や利用者の利便性を考慮し開館日とした。一方、週2日の休館日を確保するため、土日祝と重ならないよう、水・木曜日を休館日として設定している。なお、イベント等を実施する場合には、臨時に開館することも検討している。

本会議での討論

反対　中山間地域には放課後等デイサービスや児童館が少ない。民間活用より市が子どもの居場所づくりを進めることが持続可能な地域づくりにつながると考え、反対する。

賛成　人口減少や少子高齢化が進む中山間地域では、地域産業の振興や担い手確保が課題である。本施設が人材や企業を呼び込む拠点となり、地域の元気やにぎわいの創出につながると考え、賛成する。



令和８年第３回定例会

一　般　質　問

一般質問とは？

市議会議員が市長や担当部局などに対して、市政全般について現状や課題、将来の方針などに関する質問を行い、そのやり取りを通じて政策提言を行う場のことです。市の日々の仕事やお金の使い方をチェックし、市民の意見を市政に反映させるための重要な手段です。

一　般　質　問



下向（しもむかい）　智恵子（ちえこ）
（公明党）

質問した項目

- 広域交流型オンライン学習の社会実装と持続可能な運営について
- 集中浄化槽の維持管理と今後の支援について

東広島発「のん太の学び場」を未来へ

問　広島大学と連携して取り組む広域交流型オンライン学習は、※ＳＩＰに採択され、東広島市を拠点に全国展開も進んでいる。国の研究期間終了後も、本市の重要な教育資産として維持・発展させるため、持続可能な運営体制をどう構築していくのか。

答　広域交流型オンライン学習は、人口減少社会に対応した新たな公教育モデルとなる貴重な教育資産である。ＳＩＰの成果を最大限活用し、人材の確保・育成や学校間及び関係機関との調整体制、システムの運用体制の確保など、持続可能な運営体制の構築を進めていく。

老朽化する集中浄化槽団地の今後を問う

問　集中浄化槽団地では本体に加え、地下の汚水管渠（かんきょ）も老朽化している。下水道接続や個別浄化槽への転換が困難な団地もある中、管渠の実態や課題を把握し、将来を見据えた支援のあり方を研究・検討すべきではないか。

答　汚水管渠の計画的な点検や改修が補助対象となっていないことは課題として挙げられる。本市や他自治体の実態、対応等を調査するとともに、国の動向にも注視しながら研究していく。実態に即した支援について、国や県にも要望していく。

※ＳＩＰ　戦略的イノベーション創造プログラムの略。内閣府総合科学技術・イノベーション会議が主導する、産学官連携による社会課題の解決や日本経済再生に寄与する研究開発を推進する国家プロジェクト。

動画はこちら

農業を基盤とする強い経営体づくりに向けて



上田（うえだ）　秀（ひでし）
（創志会）

質問した項目

- 地域経済を支える持続可能な農業・農村について
- 中核市移行への展望と本市の将来像について

動画はこちら

問　**現在、米価や資材価格が大きく変動する中、集落営農に対しては、一過性の補助金交付ではなく、安定した収益を確保し、雇用により後継者を育てる「経営体」としての機能が強く求められている。これまでの農業従事者の取組みを尊重しつつ、株式会社化を含めた農業法人の経営高度化等を一体的に支援していく考えはないか。**

答　農業法人には、これまで県内でも最大規模の水田面積を有する本市農業の中心的担い手として、多大な役割を果たしていただいている。一方で、多くの農業法人では、農業を取り巻く環境変化に伴い、経営上の課題が一層大きくなっている。農業法人が将来にわたって経営を継続していくためには、収益性向上や人材確保、事業承継を意識した経営的な視点が一層重要であると考えている。株式会社化に関しては、現在、西条町の農業法人において、経営強化に向けた株式会社への移行と事業承継の準備が進められている事例もあり、本市も県をはじめとする関係機関と連携しながら、必要な支援を行っている。今後も、大区画化などの農業基盤整備やスマート農業技術の導入などによる効率的な営農環境の整備を推進するとともに、農業法人それぞれの実情や意向を踏まえ、人材確保や経営強化に向けた経営高度化に対する支援に一層取り組んでいく。

高齢者の補聴器購入費助成について



坂元（さかもと）　百合子（ゆりこ）
（公明党）

質問した項目

- 防災・復興について
- 高齢者の補聴器購入費助成について

動画はこちら

問　**高齢者の補聴器購入費助成について、県内他市の制度導入に対する本市の見解を伺う。また、介護予防・健康寿命の延伸の観点から、高齢者の難聴対策として補聴器購入費助成制度の創設が必要と考えるが、その必要性及び制度の創設に対する本市の見解を伺う。**

答　県内では、福山市をはじめ、呉市、三原市、大竹市、江田島市の5市で補聴器購入助成制度が導入されている。高齢者の社会参加の促進や認知症、※フレイルの予防につなげるため、県内外の先進事例を参考にしながら、効果的な高齢者支援施策を検討したい。

また、近年の研究において、難聴対策が認知症の予防・改善につながる要因の一つに位置づけられ、早期の対応や適切な補聴器の活用が重要であるとの認識が広がっており、本年1月には、東広島地区医師会から本市に対し、補聴器の助成制度創設等について提言があった。このような状況を踏まえ、健康寿命の延伸や介護予防に向け、さらなる取組みが必要であると認識している。補聴器をより身近に利用できる環境を整え、高齢者の社会参加の促進や介護予防に繋げることができるよう、現在、新年度からの補聴器購入費助成事業の実施に向け、制度の具体的な内容について検討を進めている

※フレイル　加齢によって運動機能や認知機能といった心身の活力が低下した状態のこと。



小池　恵美子（こいけ　えみこ）
（市民クラブ）

質問した項目

- 八本松駅前周辺のまちづくりについて
- 猛暑時代に対応した子どもの遊び・運動環境の確保について

動画はこちら

八本松地域の図書館と自習スペースの確保

問　現在、八本松では地域センター、出張所、集会所を集約した複合施設の整備が進められている。基本設計では、図書コーナーを設けることとしているが、市はこの図書コーナーを地域図書館として位置づけているのか。また、学生が安心して自習などができる学習スペースを設けるのか伺う。

答　条例上の地域図書館ではないが、昨年開設した高屋図書館と同程度の約1500冊の図書を配架し、予約した図書を受け取ることができるロッカーと返却ボックスを設置する予定。また、自習や学習に利用できるスペースを整備し、子どもから大人まで幅広い世代の方が、それぞれの目的に応じて過ごすことができる環境を整えていく。

学校体育館への空調の設置について

問　全学校体育館の空調設備整備について、整備対象、順位、年度を明らかにしたロードマップを策定する必要があると思うが、本市の見解を伺う。

答　施設の状況や補助制度の動向等により変動するため、年次までを明示したロードマップは策定していない。国は学校体育館等への設置率を令和13年度中に100％とする方針を示しており、本市としても着実に推進する。



原田　栄二（はらだ　えいじ）
（公明党）

質問した項目

- 2040年の地域共生社会について

動画はこちら

認知症とともに暮らせる地域づくりについて

問　団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据え、認知症になる前から自らの脳の健康に関心を持ち、早期に気づく仕組みが必要である。先進事例を参考にVR等のデジタル技術を活用した「脳の健康チェック」を試験的に導入し、早期発見・早期対応につなげる取組みについての本市の見解を伺う。

答　生活習慣の見直しや早期相談・早期受診を促すきっかけとなるものと認識しているが、医療機関等の支援体制の確保等の課題もある。先進事例の情報収集を行うとともに、医療関係者等の意見も伺い、検討を進める。

民生委員・児童委員の担い手確保について

問　民生委員の担い手を増やすため、「報酬・活動費の充実」を求める声がある。通信費、交通費等、活動に伴う様々な実費が発生しているが、活動区域が広いとその負担は小さくない。実費弁償や活動費について、現状を検証し見直す考えがあるのか伺う。

答　物価高騰や活動件数の増加、担い手不足等を踏まえ、民生委員・児童委員活動費を増額する補正予算案を提案しているところである。また、県においても各民生委員児童委員協議会へ交付する活動推進費を増額予定と伺っている。今後も国県の動向を注視し適切に対応する。



中曽（なかそ）　久勝（ひさかつ）
（創志会）

質問した項目

- 公園施設内の樹木管理について
- 八本松スマートインターチェンジ並びに周辺地域における道路整備の工事の進捗・交通量の変化・交通渋滞について

動画はこちら

公園施設内の樹木管理について

問　樹木の老齢化、大径化が進行し、重大な事故等の発生リスクが懸念される。樹木の持つ機能や効用の増進と樹木の安全性の確保を継続的に両立させていく必要があることから、樹木の点検・診断を適切・確実に行い、安全性の向上を図ることが求められるが、樹木の点検・診断はどのように行っているのか。

答　月1回の樹木の巡回点検を行っており、必要に応じて診断を行っている。点検の基準は、国が策定した指針に沿っている。点検は、樹木管理受託業者等が目視により確認、診断は必要に応じ、樹木医などが実施している。

八本松スマートICと周辺道路の渋滞対策

問　八本松地区では半導体関連企業の進出、企業の立地や、今から進出する事業体もあり、八本松スマートIC付近の交通量の増が見込まれるが、供用開始を待たずに交通量の対策などを行う必要があるのではないか。

答　今年度から交通渋滞の緩和に向け、ソフト政策として交通需要マネジメントに取り組むこととしている。具体的には、交通渋滞の要因を把握した上で、事業所等に対し時差出勤等の取り組みを推進するよう働きかけ、交通量の分散及び低減を図っていきたいと考えている。



谷（たに）　晴美（はるみ）
（日本共産党）

質問した項目

- 外国人政策について
- PFAS汚染問題への対応について
- 駅や道路等インフラ整備について
- 酒蔵の煙突耐震化計画とまちづくりについて

動画はこちら

酒蔵の煙突耐震化計画と高さ規制のまちに

問　①将来的には煙突がビル群に隠れて見えなくなるのではないかと危惧する。住宅の高さ規制に乗り出し、酒蔵の煙突のある景観を守るためのまちづくりに着手すべきと考えるが見解を伺う。
②景観保全のためには、耐震改修補助制度の充実と住宅改修制度の創設が必要と考えるが見解を伺う。

答　①西条酒蔵通り地区景観保存推進協議会において、酒蔵地区の煙突を含め、将来目指すべき景観やまちづくりの方向性について検討している。引き続き地域の皆様の意見を踏まえ検討していく。
②歴史的なまちなみの保全や良好な景観の形成を進めるため、まずは、推進協議会の中で、意見を伺っていく。

外国に繋がる子どもの日本語教育の充実を

問　多文化共生社会の実現には、日本語教育環境の充実が重要であり、外国籍の教職員の採用を含めた正規職員の増員が必要と考えるが、見解を伺う。

答　採用は、県教育委員会において県内の状況を踏まえ適切に行われていると認識している。正規職員の増員は、市教育委員会としても重要な課題と認識しており、国に定数拡充を継続して要望している。引き続き定数増加に向け、国へ働きかけていく。

一般質問



やまだ　まなぶ
山田　学
（真政倶楽部）

質問した項目

- 地域農業について
- 和文化共生社会について

動画はこちら

有機農業を「面」で育てる推進エリアを！

問　有機農業は、農家を個々に支援するだけでは広がらない。需要・生産者・支援を一つの「面」に束ねることが重要である。昨年12月定例会の答弁以降、推進エリアの区域指定の具体化の進捗と今後の見通しを伺う。

答　有機農業に限定せず減農薬や堆肥の活用など、環境負荷を減らす取組みを面的に推進し、そのモデルとなる「推進エリア」の設定を検討している。先進的な農業者との意見交換や関係機関との協議を進め、合意形成が図られ次第、速やかに準備を開始し、必要に応じた国への提案や支援要請も行っていく。

増える外国人市民、土葬にどう備える？

問　外国人市民の定住化が進み、全国で土葬をめぐる課題が生じている。火葬を原則とする日本で、土葬は一度その土地を墓地と認めれば元に戻せない。市に相談は寄せられているのか。原則認めない方針を持つべきではないかと考えるが、市はどのような方針で臨むのか伺う。

答　現在、市に土葬に関する相談や問い合わせは寄せられていない。土葬は一律に禁止されているものではないが、公衆衛生や周辺環境、地域の理解など慎重に検討すべき課題がある。国や県の動向、他自治体の事例等を注視し、適切に対応していく。

一般質問



むかい　てつひろ
向井　哲浩
（創志会）

質問した項目

- 本市における公契約及び指定管理者制度について
- 次世代学園都市構想の推進について

動画はこちら

次世代学園都市構想の推進について

問　2050年を見据えた次世代学園都市の展開において、本市が目指す「ローカルハブ」とは、具体的にどのような都市の姿を目指すのか。単なる企業や人口の集積ではなく、東広島から国内外の企業や市場と直接つながり、新たな産業や価値を生み出す都市とは、どのような状態を想定しているのか伺う。

答　「ローカルハブ」とは、地方圏にありながら国内外の多様な都市や地域と連携した「自立経済都市圏」とされている。本市は、広島大学をはじめとした学術研究機関や半導体関連企業をはじめとする先端産業が集積するとともに、※タウン&ガウン構想による産学官連携の取組みや次世代学園都市構想を推進している。本市が目指す「ローカルハブ」とは、大学や研究機関が有する研究成果や技術が企業活動と結びつき、新たな産業や事業が継続的に生み出され、その成果が更なる投資や人材を呼び込み好循環が形成された状態を想定している。次世代学園都市ゾーンを核として、大学や研究機関、企業などとの連携を一層深めるとともに、都市環境や生活環境の充実を図ることで、仕事や暮らし、学びを求め多様な人材が国内外から集まってくる「選ばれる都市」となるよう、こうした好循環を生み出す環境の形成を着実に進め、「ローカルハブ」の実現を目指していく。

※**タウン&ガウン**　欧米の大学立地都市を参考に、タウン（街）とガウン（学生や教授たち）とが一体となったまちづくりを目指すため、大学と東広島市が連携を図りながら、持続可能で魅力的なまちづくりを進める取組み。



玉川（たまがわ）　雅彦（まさひこ）
（創志会）

質問した項目

- 本市における市民農園と今後の農業の関係について
- 本市における学校教育について

動画はこちら

本市の市民農園と今後の農業の関係について

問　富士市や大和市では、ファミリー農園開設の目的の一つとして、遊休農地の有効利用や農地の保全を図り「農」の多用な機能を活かすことを掲げている。本市における、耕作放棄地等を活用した市民農園への再利用について認識を伺う。

答　市民農園は、農業に触れる機会の創出を通じて農業への理解を深め、将来的には地域農業を支える新たな担い手の確保にもつながるもので、耕作放棄地や不作付地の活用にも有効な取組みの一つと認識している。今後も他自治体の優良事例を参考に取組みを推進していく。

本市のデジタル教科書の正式導入について

問　本市において、デジタル教科書の導入について検討が始まっていると思う。導入するに当たっては、現場の教員の意識調査などを行う必要があると考えるが、教育委員会としての認識を伺う。

答　デジタル教科書の正式導入に当たっては、学校現場の実態や教員の意見を十分に踏まえることが重要であると認識している。現在行っているGIGAスクール推進協議会や研修等を通じた活用状況や意見の把握に加え、国の制度改正や対象の拡大も見据えながら、教員の意見や課題認識の把握に努める。



落海（おちうみ）　直哉（なおや）
（市民クラブ）

質問した項目

- 学校プールの再編を契機とした公共施設の複合化について

動画はこちら

更新か集約か学校プールの比較検討を

問　学校プールは全小学校32施設が対策を要し、修繕・建て替えには概算約64億円を見込むとの答弁があった。屋外プールは年間2か月程度しか使えず、猛暑で授業ができない日も生じている。指導しながら全ての児童に目を配ることは容易ではなく、保護者から安全面を心配する声もある。管理も教職員の負担となっている。

　32施設それぞれに維持管理費を支出し更新を続ける道もあるが、施設を集約して屋内プールを整備し、市民利用も図りながら維持していく考え方もあるのではないか。屋外と屋内では建設費や維持管理費などが異なり、単純には比較できない。それぞれの特性を踏まえた比較検討を行うべきではないか。

答　まずは教育現場の視点から課題や再編の可能性を検討する必要があるが、可能な限り公共施設マネジメント担当と財政部門も連携して対応する。

　整備や再編の検討に当たっては、※ライフサイクルコストの観点から比較することが重要であり、複数の学校が共同で利用する屋内施設を新たに整備する手法についても、今後の比較の対象として検討する。公共施設の複合化は公共施設マネジメントを進めるうえで有効な手法の一つであり、国の資料や先進事例についても必要な情報収集や調査を行っていく。

※**ライフサイクルコスト**　製品や建物、設備などについて、企画・設計から運用・保守、修繕、解体、廃棄に至るまで、その生涯にわたって発生する総費用のこと。



景山 浩（かげやま ひろし）
（市民クラブ）

質問した項目

■市民協働及び官民協働の視点での市民自治について

動画はこちら

市民協働、官民協働の視点でのまちづくり

問 **①コミュニティ・スクールの推進は、市全体の共通目標を設定するのか、各校の独自性を認めるのか。②市民と行政を結ぶ市民活動団体等の支援は、地域共生社会の取組みの中で行われるのか。③市の政策を広報する際、どのような方針により行っているか。④1974年に制定された「東広島市民憲章」の意義について市の認識を伺う。⑤自治基本条例に対する市の認識を伺う。**

答 ①市として統一目標に集約する考えはない。学校も地域も「自分事」という共通理念の下、各学校が地域とともに主体的に課題解決に取り組めるよう支援していく。②地域共生社会や市民協働のまちづくりの分野の異なる関係機関間の関係性を強化する中で推進していく。③まちづくりへの共感と参画につなげることを基本的な方針とし、各種媒体を連動させながら政策広報の充実を図っていく。④まちづくりの理想像を示し、市民、地域、行政が共通の方向性のもとでまちづくりを進めるための指針として重要な意義を有するものと認識している。⑤自治体運営の基本理念や市民参加等を規定するもので、まちづくりの基本的な考え方等を誰もが読んで理解できるように成文化できる点が特徴と考える。効果、必要性及び既存の法令等との関係を踏まえ慎重に検討すべきテーマと認識している。



中川 修（なかがわ おさむ）
（市民クラブ）

質問した項目

■安心・安全なまちづくりの推進について

動画はこちら

河川の浚渫（しゅんせつ）について

問 **広島県及び市管理河川の浚渫の進捗率と完了目標について問う。**

答 県が管理する河川については、県内全体の河川における浚渫実施延長がおおむね直近5か年の目標201kmに対し189．8kmで、進捗率は約94％となっており、引き続き実施する予定と伺っている。

市が管理する河川については、地域の皆様からの要望や現地調査の結果を踏まえ、緊急浚渫推進事業債を活用し、浚渫を実施している。事業の進捗状況としては、対象31河川のうち20河川の浚渫が完了しており、進捗率は約65％となっている。残る11河川については、令和11年度に完了を見込んでいる。

※流域治水対策について

問 **広島県と流域治水対策を推進しているが進捗について問う。**

答 本年4月に黒瀬川流域が特定都市河川流域に指定されたことを受け、本市においても県と連携し、特定都市河川浸水被害対策法に基づく流域水害対策計画の策定を進めている。具体的には、過去の浸水被害や対策の実施状況、地域の皆様からの要望などを県と共有し、これらをもとに河川改修や雨水貯留施設の整備など、流域水害対策計画の策定に向けた協議を行っている。

※**流域治水**　河川管理者が主体となって行う治水対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、その河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策のこと。



貞岩（さだいわ）　敬（たかし）
（清新の会）

質問した項目

- 人口増加に対する住環境の拡充について
- 平和教育について

動画はこちら

人口増加に対する住環境の拡充について

問 本市は県内で人口3番目の市になった。吉川地域における半導体工場の増設で新たに雇用される人数は千人以上と聞く。寺家地域では住宅が増えているが、計画されている戸数を伺う。また、それに伴う道路や下水道の整備状況、児童生徒の安心安全な通学路の確保について伺う。

答 計画的な市街地整備を進めているが、民間を含めての戸数は把握できていない。寺家地域内では年間平均で約150棟の住宅が建築され、西条第二地区では幹線道路や生活用道路27路線の整備を進めている。公共下水道は33kmの整備を計画的に進めており、寺家駅周辺でも整備を進めている。安心安全な通学路の確保については、学校、警察、道路管理者等と連携し、安全対策に取り組んでいる。

平和教育について

問 昨年決議した「次世代への継承と世界に向けた平和施策の展開に関する決議」への対応と被爆体験等を認識し自らの課題とする教育活動について伺う。

答 被爆者の高齢化が進む中、証言や資料を残すことは重要で、関係機関と連携し取り組んでいる。学校教育では平和学習ポータルサイトを整備し、児童生徒が平和な社会づくりに参画しようとする意欲や態度を育んでいく。



木村（きむら）　輝江（てるえ）
（未来の風）

質問した項目

- 屋内の遊び場について
- 災害対応について

動画はこちら

子どもの声は届いてる？屋内遊び場の必要性

問 屋内の子どもの遊び場や居場所の重要性について繰り返し訴えてきたが、市は既存施設の活用検討にとどまり、当事者からの切実な声はやまない。定住促進や賑わい創出にも資するものである屋内遊び場整備を具体的に検討する考えはあるか。

答 子どもの遊び場・居場所の充実は重要課題であるが、公共での新設は多額の費用を要し、一拠点では市域全体に対応困難なため、既存施設や民間施設・地域資源を体系的に整理し、地域の実情に応じた居場所づくりの方策を取りまとめていく。

子どもの居場所、このままの施設で使える？

問 地域センターや体育館は本来スポーツや生涯学習等を目的とした施設であり、子どもが日常的に利用できる時間や、目的なく安心して過ごせる場としての機能が不足している。既存施設の活用を軸とする中、こうした課題をどう認識しているのか。

答 子どもの居場所には遊び場機能に加え、安心して過ごせる場や人との交流を育む役割も求められる。既存施設の活用にあたっては利用状況や設備を把握し、スペースの確保や備品の整備を行うとともに、子ども自身の意見も聴きながら実態に応じた運用を検討する必要がある。

一般質問



大下（おおした）　博隆（ひろたか）
（清新の会）

質問した項目

- 自転車を活用した持続可能な交通環境の形成について
- 学校における熱中症対策について

動画はこちら

学校への冷水器設置方針は

問 ①冷水器の設置費用が学校配当予算に占める割合は小規模校ほど高くなると思うが、学校規模による負担差をどう考えるか。②モデル校への設置等、具体的な検討を進める考えはあるか。③PTA等からの冷水器の寄附は受入れ可能か。

答 ①学校規模による負担割合の差は認識しており、学校現場のニーズを把握しながら実情に応じた対応に努めている。②ニーズや費用、他自治体の情報等を踏まえ、試行的な設置の可能性を含めて統一的な考え方を取りまとめる。③受入れは可能。経費後の電気・水道料や維持管理等は教育委員会で対応する。

自転車ネットワーク計画の策定を

問 自転車の利用経路や事故情報等のデータを活用した優先整備路線をより客観的に抽出する仕組みを導入するとともに、自転車ネットワーク計画を策定し、安全に移動できる通行空間を面的、継続的な整備をしてはどうか。

答 国のガイドラインに基づき道路管理者や警察等と連携し、まずは西条市街地を中心に自転車利用の実態や道路条件等、整備の実現性を踏まえて自転車ネットワーク計画を新たに策定し、計画的、継続的な自転車通行空間の整備を推進する。

一般質問



宮川（みやかわ）　誠子（やすこ）
（真政倶楽部）

質問した項目

- 日本は究極の共生社会を実現していた

動画はこちら

日本は究極の共生社会―大調和―の国だった

問 世界の人が日本に来て驚くことは、女性が夜中に一人で歩いていることだ。日本の道徳心に世界は驚いている。

日本人の道徳心を育てた精神文化の根っこは神道にある。神道の本質は、「祖先崇拝」「自然崇拝」であり、自然に感謝し、先祖に感謝する思いが、先祖から続いてきた「家」を自分の代で汚すわけにはいかないという思いにつながり、これが道徳基準になっている。だから、家を中心とした共同社会を築いてきた。

日本は、世界最古の王朝が現在まで続いている稀有な国である。日本は天皇の「シラス」国であって、国民のことを知り、国民に寄り添い、国の安寧を祈る統治の形であり、武力によって世界を支配した西洋の「ウシハク」とは違う。

日本の国柄は大調和である。それは自然を見ればわかる。自然は競争しない。タンポポはバラになりたいとは思わない。全ての存在が役割を持って、自然界の中で必要な存在として生き、調和し合って大自然を作っている。かつての日本人も、自然の摂理に学び、自分の役割を喜んで生きていた。考えを問う。

答 大調和とは、多様な人々が共存し、互いの役割を尊重しながら協力して社会の発展を目指す姿であり、本市が目指す多文化共生や地域共生社会も、この大調和の考えに通じるものである。



重森　佳代子（しげもり　かよこ）
（清新の会）

質問した項目

- 一つの学校に二つの指導体制 ―「グローバルクラス」開設
- グローバル教育は一択なのか？

動画はこちら

議論なし！　英語で学ぶクラス開設に疑問？

問　来年4月、高美が丘小学校に各教科を英語で学ぶ「グローバルクラス」を開設することが突然発表された。一つの学校に英語力に大きな差ができる二つの指導体制をつくることが公教育として機会均等と言えるのか。当事者の子どもや保護者はカヤの外。議会でもほぼ議論なし。早期の英語中心の教育は、日本語の発達や思考力への影響を懸念する研究者もいる。この方針の決定プロセスを問う。

答　次世代学園都市構想の取組みとして、令和7年度から、広島大学や広島県教育委員会と意見交換を重ねながら検討してきた。

1回のくじ引きで教育格差ができる懸念

問　①教科の拡充は様子を見ながらということは、6年間の教育課程はないのか。②希望者が多いと抽選。英語で授業するクラスとそうでないクラスが隣同士になる。どのように考えるか。③学業不振が子どもを追い詰めることもある。ドロップアウトのリスクへの対応は？④広大附属小でもやらない教育を、市立小学校でやるのか。

答　①具体的教育課程の内容は確定していない。②学級間に優劣意識が生じる可能性に配慮が必要と認識。③子どもに寄り添いながら、内面を把握する。④より良い形を探る実証研究である。



田坂　武文（たさか　たけふみ）
（清新の会）

質問した項目

- 環境行政について
- 第五次東広島市総合計画後期基本計画について道路行政について

動画はこちら

早く何とかして！渋滞対策

問　①国道2号道照交差点の立体交差の工事はほぼ完成しているように見えるが、いつ開通する予定なのか。②原・吉川・田口地区の渋滞対策として、吉川工業団地、吉川第二工業団地、田口研究団地内の企業や新工場の工事関係企業で協議会をつくり、各社の始業・終業時刻を調整する仕組みが検討できないか。③記念橋交差点の改良工事、馬木八本松線の歩道設置工事はどれくらい進捗しているのか。

答　①国からは、令和7年度末時点の進捗率は約85％で、令和8年度中の開通を目標に事業を進めていると伺っている。②本年8月に交通需要マネジメント推進協議会を設立した。今後、その下部組織となるワーキンググループを設置する予定であり、吉川工業団地、吉川第二工業団地、田口研究団地の企業や工事関係企業などで、出勤時間の調整を含む交通需要マネジメントの施策について議論したい。③県によると、記念橋西詰交差点の改良については、交差点形状に関する詳細設計に着手している。県道馬木八本松線の歩道設置工事は、工事延長約900ｍで事業が進められており、昨年度はファミリーマート八本松原店南側の工事約50ｍが完成した。今年度は、秋以降に下原バス停付近の183ｍ区間の歩道工事を予定していると伺っている。

一般質問



片山（かたやま）　貴志（たかし）
（創生会）

質問した項目

- 次世代学園都市におけるインフラ整備と将来像について
- 持続可能な観光地づくりと広報・組織戦略について
- 財源確保の多角化と持続可能な都市経営について

動画はこちら

信号機の早期設置を！
下見街道・巡回線合流

問　下見街道と西条中央巡回線の合流部周辺における通学の安全対策について、信号機設置までの2年間にも市民の命が脅かされる可能性がある。交差点改良工事の完成を待つことなく、市費負担により信号機を前倒しで設置させる強い姿勢で広島県等との交渉に臨むべきと考えるが本市の認識と見解を伺う。

答　道路利用者の安全確保を最優先に取り組むべき課題と認識している。工事完了前の設置は費用負担など、県や警察との協議が必要だが、物件移転完了後に早期設置できるよう強く要望していく。

将来の医療機能を確保！
病院誘致も選択肢

問　令和12年の人口20万5000人を見据え、既存支援の延長にとどまらず、大学病院や近隣他市からの病院、医療機関の誘致を選択肢から排除せず、医療体制の根本的な解決が必要だと考える。どのような将来構想で医療体制を確立していく考えか、本市の意志と見解を伺う。

答　広島県においては、新たな地域医療構想の策定が進められている。人口動向や医療需要の変化を踏まえ、東広島医療センターの機能強化や他の救急医療機関との役割分担を図り、持続可能な医療体制の構築を目指す。

一般質問



岩崎（いわさき）　和仁（かずひと）
（創生会）

質問した項目

- 第五次東広島市総合計画後期基本計画について

動画はこちら

海を活かしたボートパーク
建設について問う

問　安芸津地域にある港湾施設などを新たに活用し、交流人口拡大につなげることが効果的であると考える。「海がある東広島市」から「海を活かす東広島市」へ転換するため、地域に新たな価値を生み出すボートパークを建設してはどうかと考えるが市としての考えを伺う。

答　安芸津地域で進めている「みなとオアシス」の取組みを踏まえ、港を核とした地域の魅力向上や賑わい創出の観点から、本市の港湾施設や海洋空間の有効活用のあり方について、地域に新たな価値を生み出す取組みを目指し調査研究していく。

子育て世帯向け住宅
「ひだまりハウス」について

問　ひだまりハウスは、子育て世帯の定住促進を図ることを目的に整備された住宅だが、現在、9室の内7室が空室となっており、本来の設置目的を達していない。まちづくり会社などの力を借りて改善を図るべきと考えるが市としての考えを伺う。

答　ひだまりハウスは、安芸津地域の活性化を支える有用な資産であることから、子育て世帯の定住促進に加え、移住施策と連携した有効活用を進めていくことが重要と考える。まちづくり会社等との連携については、それぞれの役割や効果を踏まえながら検討していく。

注目! TOPICS ①

令和８年度海外都市行政視察報告

台湾に学ぶ未来のまちづくり



現在、地方自治体には、人口減少・少子高齢化への対応、グローバル社会に対応した教育環境の充実、デジタル技術を活用した住民利便性の向上など、多面的な都市課題への迅速な対応が求められています。台湾では近年、行政の強いリーダーシップのもとで、持続可能なまちづくりに向けた様々な先進的な取組みが展開されています。それらの先進事例を調査し、本市のまちづくりに活かしていくため、行政視察を実施しました。

視察先 台湾（屏東市、屏東県、台南市、雲林県、台北市）

日程 令和８年７月５日～７月９日

参加議員 山田 学、下向 智恵子、原田 栄二

① 千禧公園・屏東県民公園【屏東市】

まちづくりの核としての公園整備について

自然工法による生態型公園と、旧工場跡地を再生した産業遺産再生型公園。自然環境の保全や産業遺産の再生、河川の水質改善などを一体的に進め、都市の課題解決や地域の価値向上につなげる公園整備等について視察しました。



ポイント
- 都市課題を解決する公園整備
- 歴史的遺産の観光資源化
- 点から面へのまちづくり

② レジャー農業区【屏東県】

地域の組織化による六次産業化と滞在型観光について

熱帯フルーツの一大生産地で、農業と観光を融合した六次産業化を進める地域。複数の農家や民宿、農村レストランが連携した地域の組織化や、宿泊を伴う滞在型観光、行政による伴走支援の取組み等について視察しました。



ポイント
- 地域一体の組織化
- 一体的なブランディング
- 滞在型観光による農家所得の向上

③ 国立南科国際実験高校【台南市】

産業集積を支える公立国際学校とICTを活用した人材育成について

産業拠点地区内に設置され、産業と教育を結び付ける公立国際学校。英語中心のグローバルな学びやICT環境の整備、日本の高校との交流など、産業集積を支える次世代の人材育成について視察しました。



ポイント
- 産業集積と一体となった学校づくり
- 公教育の国際化
- 選ばれる教育環境の構築

❹ 建国国民中学校【雲林県】

地域の組織化による六次産業化と滞在型観光について

地元産の有機食材を活用し、自校調理方式で給食を提供する学校。有機食材を使った学校給食や、産地・認証を確認できる仕組み、農業や環境、生産者への理解を深める食農教育、官民連携による支援等について視察しました。

ポイント
- 官民連携による給食の充実
- 食の安心と透明性の「見える化」
- 食育と地産地消の一体的な推進



❺ 台北市投資サービスオフィス【台北市】

ワンストップの企業誘致と進出後の伴走支援について

国内外の企業誘致から進出後の定着支援までを一貫して担う台北市の専門機関。行政手続や関係部署との調整を行うワンストップ支援、積極的な企業誘致活動、進出後の課題解決まで継続する伴走支援等について視察しました。

ポイント
- 進出後まで続く伴走支援
- 産学官をつなぐネットワークづくり
- 企業や人材に選ばれる都市環境の整備



❻ 台北スマートシティ実証（TPMO）【台北市】

行政課題を起点としたPoC（概念実証）によるスマートシティの推進について

行政課題と民間企業や大学等の技術を結び付けるスマートシティ推進組織。小規模な実証で効果を検証し、成果を確認した上で本格導入する新技術の社会実装について視察しました。

ポイント
- 行政課題を起点とした技術活用
- 小さく始める段階的な実証
- 産学官連携による社会実装



❼ 台湾日本関係協会【台北市】

表敬訪問・意見交換

日本との交流や協力を担い、地方自治体を含む幅広い草の根交流を支える重要な窓口。台湾の長期的な国家戦略や教育、少子化などの社会課題について説明を受け、相互に学び合う意義や今後の東広島市と台湾との交流・連携について意見交換しました。

ポイント
- 長期的なビジョンに基づく政策推進
- 新たな取組みに挑戦する姿勢
- 台湾との相互理解と信頼関係の深化



まとめ

台湾では、都市・産業・教育など幅広い分野で、将来を見据えた先進的な取組みが着実に進められていました。

今回の視察で得た多くの学びや知見が本市の政策として具体的な形となるよう、今後の政策提言や議会活動に活かしていきます。

今回の視察で見えた３つの視点

- 長期的ビジョンを持ち継続的に実行する姿勢
- 産学官民連携のプラットフォーム
- 「点」ではなく「面」で捉える発想

詳しくはこちら

海外都市行政視察報告

注目! TOPICS ②

高校生と東広島市議会の意見交換会

議員としゃべろう！ 【前編】
～高校生×東広島市議会class～



東広島市議会では、若い世代の声を議会活動に活かすとともに、議会や地域への関心を持ってもらうことを目的に、議員が高校を訪問して意見交換を行う「議員としゃべろう！～高校生×東広島市議会class～」を実施しています。各学校の特色や希望に合わせて方法を工夫し、対話を行っています。

今年度は市内４校で実施予定で、今回は河内高等学校と近畿大学附属広島高等学校での取組みを紹介します。

実施日 7/13（月）

広島県立河内高等学校

意見交換テーマ
「住みやすいまち」

２年生36人が参加し、「住みやすいまち」をテーマに、４つのグループに分かれて意見交換を行いました。

地域の生活環境や交通、学校生活のことなど、生徒の皆さんが日頃感じている身近な課題について、活発な対話を交わしました。高校生ならではの視点から、多くの提案や意見が寄せられ、議員にとっても地域課題を考える貴重な機会となりました。









高校生からの主な意見

交通・通学環境
- 自転車道や歩道がないので安全に通学できる環境づくりを
- 市中心部の交通渋滞を改善してほしい

地域の生活環境
- 河内駅周辺に若者が集まれる場所がほしい
- 景観維持にもっと力を入れてほしい

学校・教育環境
- 部活動環境を充実させてほしい
- 河内高校は先生も信頼でき環境もいい。この学校を選んでよかった

防災・防犯
- 災害時における避難所設備の充実を
- 地域の防犯対策や夜間の安全確保を強化してほしい

参加した高校生の声（アンケート回答より抜粋）

- まちの課題について意見交換して、東広島市に対する関心が高まった。
- ちょっとした意見でも真剣に聞いてくれて嬉しかった。
- 自分の意見が１つでも市政に反映されたらいいなと思った。



議員の声

- 学生の意見を学校や行政に伝える仕組みがあればいいという意見が印象に残った。
- 市とは異なる若者ならではの視点からの課題に気づくことができた。
- 地域をよく観察し、身近な課題を自分事として捉えていたことが印象的だった。



実施日
7/21
（火）

近畿大学附属広島高等学校東広島校

意見交換テーマ
「魅力あふれる
まちづくり」

１～３年生の希望者21人が参加し、「魅力あふれるまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。

生徒の皆さんは関心のある分野ごとにグループをつくり、事前の取材・調査をもとにスライドで発表。その内容について議員と活発な意見交換を行いました。

交通や教育、環境、若者の居場所づくりなど、高校生ならではの発想や調査に基づく多彩な提案が発表され、地域の未来について幅広い議論が行われました。









高校生からの提案発表

若者が遊べる場所を作ろう！
若者向けスポットが集まる「のん太通り」整備

学校で行われるごみ分別
学校での分別促進で環境意識向上

若者が暮らしやすいまちづくり
街灯の増設・LED化、公園の新設と改修

スポーツパークをつくろう！
誰でも使えるスポーツ公園の整備

町の文化財から考える教育と人口流出の緩和
地域文化の交流会でシビックプライド※醸成

東広島市の交通問題
道路の安全確保やバス増便、竹原市との合併

道路について　―自転車　my　way―
自転車が安全に通行できる道路整備

公立学校の教育機関
学びの環境維持と教育の充実

参加した高校生の声
（アンケート回答より抜粋）

・私たち自身がまちのことについて考えることがとても大切だと思った。
・同じ市の中でも多様な意見を持った人がいることがよく理解できた。
・議員さんの柔軟で深い意見を聞くことができてよかった。
・質問や提案に優しく答えてくれて、本当に参加してよかったと思った。



議員の声

・高校生が主体的に「どうすれば市が良くなるか」を考える姿を頼もしく感じた。
・今回の提案を何らかの形で施策につなげることで、地方自治への参画をより実感してもらいたい。
・若い世代の意見を聞くだけでなく今後の政策につなげていくことが市議会の役割だと再認識した。



次号予告

今年度は４校で実施します！

残る２校の様子は２月号で紹介予定！

高校生の皆さんの声をこれからも聞いていきます



詳しい報告書はこちら

総務委員会行政視察

◆視察日：令和８年７月22日～24日
◆視察先：東京都世田谷区、岐阜県各務原（かかみがはら）市、京都府福知山市

「公共施設マネジメント」をテーマに視察を行いました。

世田谷区では、廃校施設を産業支援と地域交流の拠点として活用する取組みについて、各務原市では、Park-PFI※を活用した公園の魅力向上とにぎわい創出の取組みについて、福知山市では、金融機関と連携した廃校活用や民間事業者とのマッチングを進める取組みについて学びました。



文教厚生委員会行政視察

◆視察日：令和８年７月22日～24日
◆視察先：山口県防府市、茨城県神栖（かみす）市、千葉県柏市

「地域医療の今後の展開」をテーマに視察を行いました。

防府市では、休日夜間オンライン診療の導入による救急医療体制の充実について、神栖市では、かかりつけ医の普及や医療教育など適正受診の啓発について、柏市では、多職種連携による在宅医療・介護体制の構築を進める「柏モデル」について学びました。



市民経済委員会行政視察

◆視察日：令和８年７月31日
◆視察先：静岡県沼津市

「中小企業支援における関係機関の連携」、「ぬまサポの活動状況について」をテーマに視察を行いました。

創業や経営に関する相談に対応する中小企業支援センターの活動状況や、商工会議所や金融機関など15団体が連携する「ぬまづビジネスサポート連絡会（ぬまサポ）」の取組みについて学びました。



建設委員会行政視察

◆視察日：令和８年６月30日～７月２日
◆視察先：神奈川県横浜市、北海道旭川市、北海道札幌市

「インフラ維持管理の効率化と新技術の活用」をテーマに視察を行いました。

横浜市では、下水道事業におけるDXの推進や業務効率化の取組みについて、旭川市では、予防保全を基本としたインフラ維持管理やドローン等の新技術活用について、札幌市では、中小企業でも導入しやすいICT施工の普及と生産性向上の取組みについて学びました。



※Park-PFI　公募設置管理制度。公園内へ飲食店や売店等の施設を設置・運営し、その収益を活用して園路や広場など公園施設の整備・改修を行う事業者を公募で選ぶ仕組み。

HP

行政視察報告書はこちらから

市民の声　The letter from a citizen

変化する西条

内山（うちやま）　ゆうか（西条町）

先日、縁あって西条の昔の航空写真を見せていただく機会がありました。もともと田んぼしかなかった土地にお店が建ち、道路が整備され、ヒトやモノの行き来が活発になる。今の姿の町ができたのは、開発の積み重ねなのだなあと実感します。私は県外からここ西条に来て１年半が経ったのですが、たくさんある坂道を必死に自転車で上る日々です。ですが、過去の写真を見せてもらって、こんな山に囲まれた場所に整備された道路が広がっていること自体が、立派な市政の成果なのだと思うと、この土地の坂道まで楽しんでしまいたいと思います。



東広島、まだまだ面白くできる

坂根（さかね）　徹（とおる）（西条町）



東広島、もっともっと面白いまちにしたい！

「住むなら東広島じゃろ！」って、みんなが自慢できるまちにしたいです。道路やまちの環境を良くするのはもちろん、頑張っている企業や若い世代が「ここで頑張ろう！」と思える東広島に。行政にお任せするだけじゃなく、市民も一緒になって汗かいて、知恵出して、たまには笑って（笑）、自分たちのまちを盛り上げていきたい。

真面目な話もします。でも、楽しくなきゃ続かん！そんな気持ちで東広島の未来を考えています。

令和８年　第４回　定例会の日程（予定）



誰でも自由に、見たり聴いたりできるんです。

11・12月

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25	26	27 本会議（議案説明）	28
29	30 常任委員会（議案審査）	12/1	2	3	4	5
6	7 本会議（一般質問）	8	9	10	11 常任委員会（議案審査）	12
13	14 常任委員会（議案審査）	15	16 本会議（議案審議）	17 予備日	18	19
20	21	22	23	24	25	26

■本会議・委員会等の中継映像

本会議や常任委員会、全員協議会等の様子はインターネット（YouTube）でライブ配信しています。市議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。

また、本会議はご覧いただきやすいよう編集した録画映像を市議会ホームページで配信しているほか、KAMONケーブルテレビでも録画映像を放送しています。

■本会議・委員会の傍聴、本会議の手話通訳・託児

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。

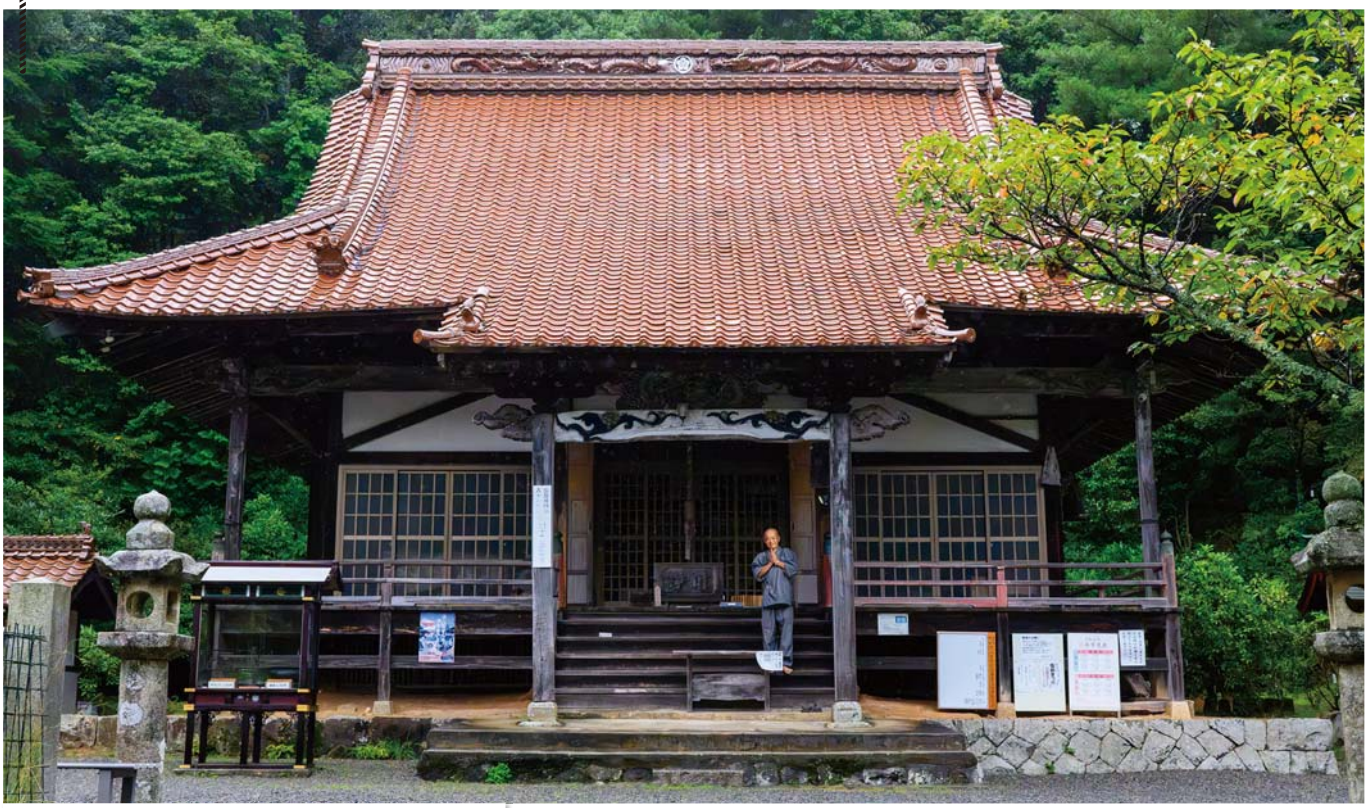
本会議の手話通訳・託児を希望される方は、希望日の7日前までに議会事務局にお申込みください。

ご不明な点は議会事務局（082）420−0966へお問い合わせください。

耳マーク

わたしの東広島

開基1300年　奈良時代から令和時代へ





福成寺本堂内厨子及び須弥壇（国重要文化財）

福成寺

福成寺は三永地区にある、国の重要文化財を有する真言宗の山寺です。古くから修験道の信仰と結びつき、修行の場として歴史を重ねてきました。春にはシャクナゲが彩る「花のお寺」として親しまれています。先人が残した歴史と文化を次世代へ受け継ぎながら、人々が集い、子どもたちの笑顔が広がる、地域の温かな絆を育む「心の拠り所」として親しまれています。

編集後記

Editor's postscript

高校生と市議会の意見交換会

東広島市議会が高校生の声を直接聴き取り、その声を議会活動に活かすこと、また議会の役割や地域の課題を分かりやすく伝え、高校生の主権者意識の醸成や議会理解の向上を図るために、高校生と市議会の意見交換会「議員としゃべろう！～高校生×東広島市議会class～」を始めました。

本年７月には、河内高校、近畿大学附属広島高校東広島校を議員が直接訪問。生徒たちと、地域の未来へのアイデアについて活発な議論を交わしました。

高校生の柔軟な視点や提案は、今後の議会活動に活かしていきます。

広報広聴委員会委員　中曽　久勝

東広島市
市議会だより

■発行／東広島市議会　■編集／広報広聴委員会
〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号　TEL.082-420-0966　FAX.082-424-9465（議会事務局）
https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html
東広島市議会

■ご意見ご感想をお寄せください／市議会だより・東広島市議会ホームページに関するご意見ご感想は、東広島市議会事務局までお寄せください。